

けんこうニュース

発行所

奥津医院

南足柄市生駒 381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一

ロータリークラブ
院長 国際大会参加
カルガリー (カナダ)

足柄上医師会講習会
「在宅医療における
褥創の予防と治療」

南足柄市
総合保健医療福祉センター
基本設計へ

湧言飛語



院長

同じ目の高さで

十年以上も前のことになりましたが、プライマリケア学会が発足して間もない頃、診察室で、患者さんと医者とは同じ目の高さにならなければ...ということがテーマの一つとなったことがある。

それ以来、この問題を考え続けてきた。〈同じ目の高さ〉というだけではだめだ。〈同じ椅子〉にしようと考えついた。

医者と患者さんが同じ椅子といっても、医者の方は2〜3時間同じ椅子に座って仕事を。患者さんの方はほんの数分座るだけ、しかも診察しやすくなければいけない。

現在使っている椅子は、事務用椅子の少し高級なものであるが、これでは満足している。患者さんの側からのご意見はいかがでしょう。

六月二十一日(金)〜二十八日(金)の八日間カナダ旅行に出かけました。カルガリーで開催された、国際ロータリークラブ年次大会に出席した後、カナディアンロッキーの観光を行なって来ました。

七月より足柄ロータリークラブの会長を勤めることもあつて会員及びその家族など十二名のリーダーとしてベストシーズンのカナダを訪れました。

雄大で美しい山々、その山々を映す澄んだ湖、大自然の中の数日を大いに楽しめました。



褥創(ねだこ)についての考え方がここ数年大きく変わってきました。寝たきり患者さんに対する入浴サービスの普及なども良い効果をあげて来ています。これにもなつて在宅で医療を受けている患者さんの褥創予防、治療の方法が変わってきました。褥創に対する予防や、処置の仕方の最新知識を、この地区で統一してとり入れるための講演会が、六月二十日に開催されました。当院より院長、看護婦二名が出席しました。

南足柄市の保健・医療・福祉の事業を展開する拠点となるこのセンターは、以前より検討を加えられているため、このたび南足柄市より基本構想が示され、医師会など各団体との調整が進められています。

現在の保健センター(広町)に隣接し、改装された保健センターの建物も含め約四倍の規模のものが想定されています。

基本的には、
(一) 健診センター、
夜間診療所



申し訳ございませんが
奥津医院の休診が多くなります。

昨年より、水曜の午後を休診としておりますが、本年三月より、院長が県医師会の医事紛争委員会委員となつたため、この委員会が開かれる、毎月第一火曜の午後も休診となりました。

本年七月より来年六月(一年間)まで、足柄ロータリークラブ会長に就任しましたので、この公式行事の際は臨時

休診や、診療時間の短縮などあります。

これまで以上、診療は熱心に行うつもりですのでよろしくお願い致します。

